

整理番号：5－2

提言題名：光風台近くにJRの路線があり、その付近に無人駅を作って欲しい

【提言要旨】

光風台近くにJRの線路があります。この付近に必要な最低限の無人駅をつくってほしいです。といいますのは、光風台前の通りを関東鉄道バスがはしっております、ここは、光風台ができたときは通勤通学につかえるほどのダイヤがありましたが、今はとても少なく通勤通学どころか、通常の外出にも大変です。バスの本数がへるのは、利用者の減少や運転手の人手不足など様々な理由があるのは理解しています。しかしながら光風台は、取手駅も藤代駅も非常に遠い、特別な場所、陸の孤島となっております。私の亡くなった(2004)父も、もうすぐ駅ができるんだ、と行ってここに引っ越してきました(1979)。市JRの話し合いで、この場に駅ができるのがJRから許可されているときいております。バスの本数の確保がむずかしいのなら、いまこそ、予算も最低限の小さな無人駅が必要です。まわりにはなにもなくてよいです。地域の高校のレベルアップにもなります。大きな会社もあります。どうか、たすけてください。地域活性化にもつながります。

追加：取手駅から上のまで在来線で40分ほどなので、もっとアピールして移住したい思わせる行動が必要です。取手市のセールスポイントをもっとブラッシュアップすることで住民のためにも。市や県のためにもなります。

(令和7年2月 受付)

【回答要旨】

ご提言いただきました光風台付近を通るJR常磐線の路線上への無人駅設置につきまして、光風台地区の方の移動手段としてはもちろんのことながら、ご指摘のとおりまちのにぎわいづくりに大きく効果があるものと認識しております。

現時点では駅の設置に関する計画はありませんが、貴重なご意見として、今後のまちづくりを進める上での参考とさせていただきます。

一方で、取手市では、将来の取手市における交通手段を維持・確保していくために、持続可能な公共交通網の構築を目指して、令和6年度と令和7年度の2か年にわたり地域公共交通計画を策定しているところです。

今年度は計画策定のための調査業務を実施しております、ご提言いただいた光風台や地域の高校の交通の現状につきましても、地区の代表者や関係団体へのヒアリング調査を通して把握しております。

市としましても、光風台団地は交通手段の確保という点でも重要な地区であると認識しておりますので、計画の策定に当たっては、調査結果を踏まえて、鉄道に限らずどのような交通手段が地区にとって適しているかを考慮し、場合によっては新たな交通手段の導入を検討していく必要があると考えております。

今回いただいたご提言につきましても、今後のまちづくりと同様に計画策定における参考とさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

(都市計画課 令和7年2月回答)